

## 神奈川県内広域水道企業団 人事異動の概要（令和2年4月1日）

### 1 人事異動に対する基本姿勢

令和2年度は、現行の事業計画・財政計画（H28～R2）が最終年度を迎え、その総仕上げを行うため、適材適所の人員配置を行います。

また、安全・安心な水道用水の安定供給の継続を図るため、新たなビジョン・実施計画を策定するとともに、将来の事業運営に資する取組みを推進します。

### 2 人事異動の時期

令和2年4月1日

### 3 人事異動の規模

区分	昇任		転(兼)任等		採用・再任用		退職等	
	事務	技術	事務	技術	事務	技術	事務	技術
部長級	—	—	—	—	—	—	—	—
副部長級	—	—	—	1	—	—	—	—
課長級	—	1	2	3	—	—	—	—
副課長級	—	—	4	7	—	—	—	1
係長・主幹級	—	5	4	6	—	1	2	—
副主幹、その他級	5	28	9	40	9	9	5	6
計	39		76		19		14	

<昨年度の状況> H31 36 87 14 17

## 4 主な人事異動

### ○ 副部長級（兼任解除）

技術部副部長

秋元 康由〔技術部副部長（兼）浄水課長〕

### ○ 課長級

総務部業務改善推進担当課長

佐藤 弘〔総務部人事企画担当課長（兼）総務課副課長〕

総務部涉外担当課長  
(兼) 総務課副課長

池田 和弘〔総務部涉外・記念事業担当課長〕

技術部浄水課長

前田 知紀〔技術部伊勢原浄水場長〕

技術部水運用センター所長

佐藤 亮〔技術部水運用センター副所長（兼）主幹（水運用担当）〕

技術部伊勢原浄水場長

長島 伸博〔技術部水運用センター所長〕

## 5 人事異動の特色

### I 事業運営の推進のために

#### (1) 業務改善・働き方見直しの推進

将来の事業運営の進展に向け、最適な業務執行体制の構築を図るため、総務部に業務改善推進担当課長を配置するとともに、本庁所属の副課長職に主幹（業務改善推進担当）を兼務させることにより、業務改善や働き方見直しの取組みを推進します。

#### (2) 水道施設の適切な維持管理の推進

施設管理システムの運用を通じて、水道施設台帳の整備やアセットマネジメントの実施に向けた作業を進めるため、浄水課に維持保全係を新設し、水道施設の適切な維持管理の推進を図ります。

## II 人材育成・人事交流等の取組み

### (1) 人材育成の取組み

採用 10 年目までの若手職員については、本庁・現場間の計画的な異動（ジョブローテーション）を行うことで、専門的な知識・技術を習得させるとともに、幅広い業務経験を積んだ人材の育成を推進します。

また、将来の再構築事業や管路更新等に対応するため、若手職員の育成を担う担当主幹を施設課に配置することにより、土木・建築職の計画的な人材育成を図ります。

### (2) 人事交流・他団体派遣の取組み

- 神奈川県との人事交流 (事務職 1 名 (継続))
- 阪神水道企業団との人事交流 (技術職 1 名 (継続))
- 広域水質管理センターに係る派遣受入 (神奈川県・横浜市から各 1 名 (継続)、横須賀市から 1 名 (新規))
- (公財) 水道技術研究センターへの派遣 (技術職 1 名 (継続))
- (公社) 日本水道協会への派遣 (技術職 1 名 (新規))

## III 若手職員の登用・女性活躍推進の取組み

- 係長級への昇任 技術職 5 名 ※うち 1 名は女性職員

## IV 採用と退職

- 令和 2 年 4 月 1 日付け採用職員

区分	事務	技術	計
新規 採用	5	9	14
新規再任用	4	1	5
計	9	10	19

- 令和 2 年 3 月 31 日付け退職職員

区分	事務	技術	計
定年退職	4	1	5
その他 退職	1	1	2
再任用 退職	2	5	7
計	7	7	14

お問い合わせ先

神奈川県内広域水道企業団

総務部総務課長

小池 045 (363) 3942

総務部総務課人事・労務係 池田 045 (363) 6032